

2018年4月12日

千葉県知事
森田健作様

(株)セブン-イレブン・ジャパン
代表取締役社長(CEO)
古屋一樹

2017年度ちばSSKプロジェクト等に関する取り組み報告書

1. 報告

(株)セブン-イレブン・ジャパン千葉ゾーン(2018年3月現在1,090店舗)の2017年度の「ちばSSKプロジェクト」に関する活動状況を報告します。

2. 2017年度計画まとめ

千葉県下のセブン-イレブン店舗1,090店で、お届けサービスなどの日々の業務を通して高齢者の見守り・買い物難民支援・認知症対策・高齢者雇用など、本業を通じた社会貢献を進めてまいりました。

I 高齢者の見守り

セブン-イレブン店内やお届けサービスを通して、高齢者の見守り活動に取り組み、異変を発見した際に市町村や警察などに通報やご家族に連絡をしました。2017年度は、特別・緊急対応の報告事例が312件ありました。

◆2017年度 一部抜粋

日付	市町村	店名	見守り事例	
			状況	対応
4月4日	御宿町	上総御宿	駐車場で高齢のお客様が脳梗塞を発症し、意識不明の状態	即時、救急車を手配し、一命を取りとめる
8月25日	袖ヶ浦市	袖ヶ浦のぞみ野通り北	高齢女性が車で来店車が駐車場で故障、さらに本人も体調不良になってしまった	JAF、救急車などの手配
9月20日	流山市	流山前ヶ崎	徘徊による捜査願いが出されている高齢者を配達中に発見	保護し、警察に通報
1月24日	大網白里市	大網白里市大網店	お届け先の80代お客様が声をかけても出てこなかった	包括支援センターに連絡し、安否確認を実施

II 買物弱者対策

県下のセブン-イレブン店 1,090 店の拠点を生かし、高齢者の地域における孤立化防止、見守り事業への参加を行いました。特に、買物弱者対策として実施している移動販売サービス「セブンあんしんお届け便」は、移動販売車で日常のお買物に不便なエリアや移動手段にお困りのご高齢の方が多地域を中心に巡回、移動販売を提供しており、2018年3月現在、県内で千葉市1台・鴨川市2台・鋸南町1台・南房総市1台の計4台を、市町村と連携して配備いたしました。

また、店舗が実施するお食事配達サービス「セブンミール」のお届け件数は、2017年度874,462件と昨年度に比べ55,543件増えており、着実に拡大しております。

III 認知症対策

県下のセブン-イレブン本部全社員は、認知症サポーター養成講座を受講しております。また、各14エリア（市原、木更津、成田、千葉中央、船橋、松戸、柏、九十九里、千葉北、習志野、浦安、銚子、北総、流山）で加盟店対象の認知症サポーター養成講座を定期的に開き、従業員の認知症サポーターは1,516名に達しました。（2018年3月末時点）

IV 高齢者の安心・安全

県下のセブン-イレブン店舗内で電話d e詐欺や消費者被害の防止活動を行いました。

◆2017年度 一部抜粋

日付	市町村	店名	見守り事例	
			状況	対応
10月20日	勝浦	勝浦297号バイパス南	警察から連絡のあった徘徊している高齢者の方が来店された	店内で保護し、警察へ連絡し事なきを得た
12月7日	船橋	前原東4丁目	店内のATMの前で通話しながら、画面操作しているお客様がいた	店長が声をかけて振り込み詐欺を未然に防いだ
1月31日	市原	市原双葉中前	高齢者がレジで高額電子ギフトカードを購入しようとしていた	警察に相談してもらい、詐欺を未然に防止できた

V 高齢者の雇用（生きがい、健康、仲間づくり）

千葉県内48市町村と共催または後援をいただき、高齢者の就業や社会参加を支援するため「シニアお仕事説明会」を開催しました。また、採用された高齢者に対し、受講料無料のレジ勉強会を開催し就労支援を行いました。県内のセブン-イレブン店舗の60歳以上の従業員数は、2018年2月末現在2,369名となっており、昨年度より337人増えており高齢者

雇用は、着実に拡大しております。

◆2017年度シニアお仕事説明会実績

開催数	参加者数	面接希望者数	採用者数
97回	612人	387人	98人

以上